

## 臨床研究「神経性やせ症患者の心理的側面の特徴-各種心理検査からの検討」について

筑波大学附属病院臨床心理部では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

摂食障害は、神経性やせ症(制限型、過食/排出型)、神経性過食症、過食性障害などいくつかの病型に分けられ、中でも神経性やせ症は、精神疾患の中でも死亡率が最も高いにも関わらず、治療法は体系化されておられません。また、発症には心理的要因が大きく関与しているが、患者自身が感情や考えなど内面に気付きにくい心理的傾向のため、評価が難しい疾患です。そうした中で、発症に関わる心理的側面、罹病期間を長引かせる心理的側面を捉えるためには心理検査が有効と考えられます。

### ② 研究対象者

2016年1月から2021年10月31日までに当院精神神経科に受診、診療の中で心理検査を実施した神経性やせ症の患者さんを対象と致します。

### ③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2022年7月15日まで

### ④ 研究の方法

下記の情報をカルテ内から集め、統計的分析を行い、神経性やせ症の心理的特徴を検討します。

### ⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

心理検査データ、診療記録

### ⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

なし

### ⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

新井哲明 筑波大学医学医療系 精神神経科教授

### ⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

### ⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 臨床心理部 高村佳幸

電話：029-853-5942 平日 9:00-17:00